

「特別の教科 道徳」実施に向けた 小・中学校における道徳教育推進教師の 役割と道徳教育経営上の課題

**H30. 11. 29 瑞沼市民センター
越谷市立鷺後小学校 磯山貴則**

本日本話すること

- 道徳科の推進について
- 道徳科の評価について
- 道徳教育推進教師を中心とした指導体制

はじめに

道徳科の授業における現状

小学校における課題

目的と手段

- ・役割演技
- ・小グループでの話し合い
- ・GTの活用
- ・管理職との連携

何をねらって
何のために

ねらいとする価値を深めるための明確なねらい
手段と目的を取り違えない

道徳科の授業における現状

中学校における課題

生徒をどのように鍛えるのか

- ・話し合い中心の授業へ
- ・書く活動からの脱却
- ・構造的な板書

生徒の実態
をどうとらえる
のか

中学校での授業を小学校を踏まえどう展開するか

道徳科の授業における現状

全体をとおした課題

指導技術を身に付ける

- ・話合いの充実
- ・広める・深める発問
- ・質の高い指導方法
- ・構造的な板書

道徳授業の
基礎基本

小学校も中学校も道徳の基本形は変わらない

道徳科の授業における現状

全体をとおした課題

道徳科における評価の共通理解

- ・評価の在り方
- ・評価の具体策
- ・ねらいと評価の関係

学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握

成長を受け止めて認め、励ます個人内評価

道徳科の推進について

新学習指導要領全面実施

- 学習指導要領改訂(平成29年3月31日告示)に伴う移行措置

平成27年3月の一部改正により特別の教科化をしており、**小学校は平成30年度から新学習指導要領によることとし、中学校は平成31年度から新学習指導要領による。**

教科化して変わること

- 教科用図書を主たる教材として使用すること
- 道徳科授業で児童生徒を評価すること

教科化して変わらないこと

- 道徳教育は、全教育活動を通じて行うこと
- 道徳教育のかなめとして道徳科の授業を年間35時間以上行うこと
- 道徳教育及び道徳科では、道徳性を養うことを目標としていること

道徳の時間の課題

- 「道徳の時間」は、各教科等に比べて軽視されがち
- 読み物資料の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導
- 発達の段階などを十分に踏まえ、児童生徒に望ましいと思われるわかりきったことを言わせたり書かせたりする授業

量的確保

質的転換

特別の教科化による質的転換

量的確保に向けて

- 検定教科書の導入により、全国の小・中学校において道徳科の指導が確実に実施

質的確保に向けて

- 質の高い多様な学習方法を取り入れた授業を各学校において展開する。

「考え、議論する」道徳科への転換
により児童生徒の道徳性を育む

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

第1章総則第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、

よりよく生きるための基盤となす**目標**を養うため、

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、**学習の過程**を面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、

道徳的な判断力、心情、実践**目標**を育てる。

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

道徳的諸価値について理解する

価値理解

人間理解

他者理解

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

道徳的諸価値について理解する

価値理解

友達と仲良くすると本当に楽しいな

友達同士で協力することは本当に大切だなあ

人間としてよりよく生きる上で大切なことを大切なことであると理解すること

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

道徳的諸価値について理解する

人間理解

困っている人に親切にするのは大事だけれど、声をかけるのは難しいなあ。

みんなで使うものや使う場所で、うっかりみんなに迷惑をかけてしまうことがあるんだ

道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さ

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

道徳的諸価値について理解する

他者理解

今週の目標だから
あいさつしよう

うご

自分も相手もさわ
やかになるから
あいさつしよう

道徳的価値を実現する場合の感じ方、考え方が多様であることを理解する。

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

自己を見つめる

人間としてよりよく生きる上で大切な道徳的価値を自分のこととして考えたり、感じたりすること。

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

自己を見つめる

経験

感じ方

考え方

照らし合
わせなが
ら考える

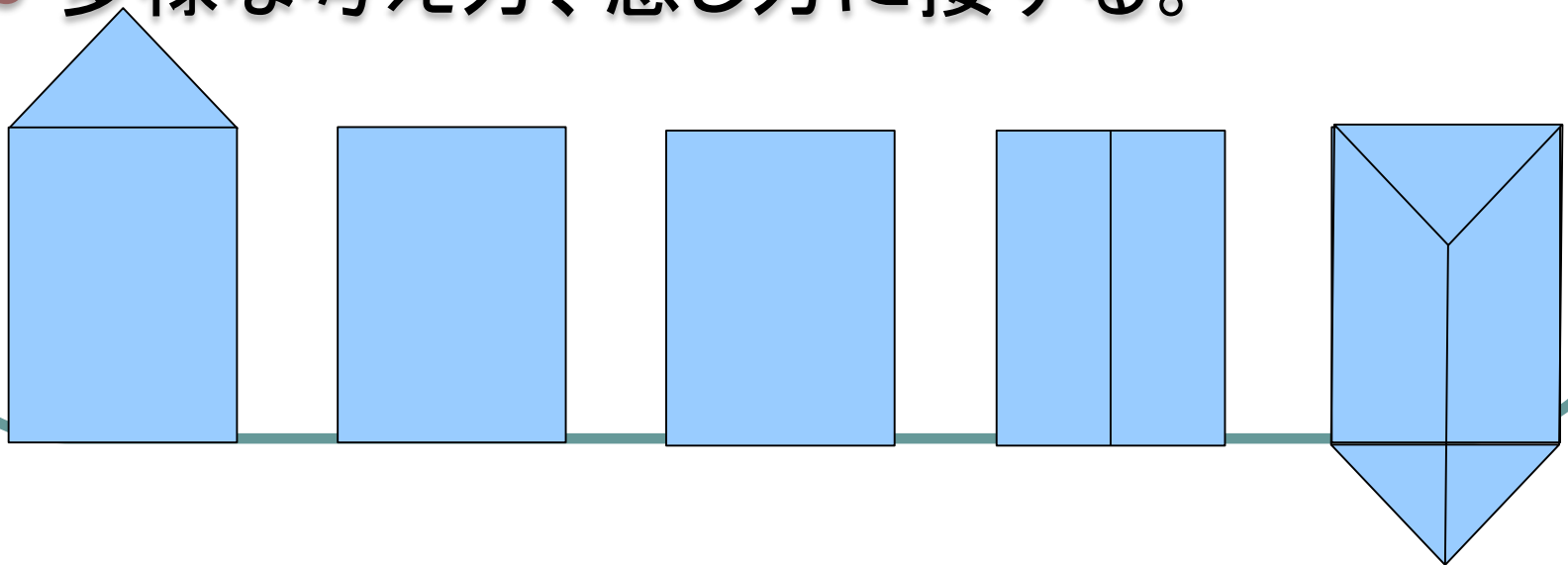
例：自分は思いやりをもって生活しているだろうか？

道徳的価値の理解と同時に自己理解を深め自らの成長を感じたり、課題や目標を見つけたりする

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

物事を多面的・多角的に考える

- 他者と対話したり、協働したりしながら、道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を考える。
- 多様な考え方、感じ方に接する。



「特別の教科 道徳」の目標を理解する

自己の生き方についての考えを深める

道徳的価値の理解を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う考え方や感じ方などを確かに想起したりすること。

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

自己の生き方についての考えを深める

- 道徳的事象を自分自身の問題として受け止める。
- 他者の多様な考え方や感じ方にふれることで自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめる。
- 課題を考え、自己の生き方として実現しようとする思いや願いを深める。

特質を踏まえて指導方法を工夫する

考え、議論する道徳

考える

主体的に
自分との関わりで

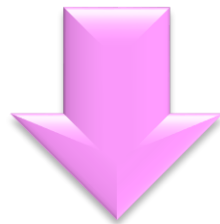
多様な考え方、
感じ方と出合い
交流する

自分の考え方、感じ方
を明確にする

自分の考え方、感じ方
をより明確にする

特質を踏まえて指導方法を工夫する

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考え・議論する道徳」の実現



主体的・対話的で深い学びの実現

特質を踏まえて指導方法を工夫する

主体的な学びの視点

問題意識をもつ

自分自身とのかかわりで考える

自らを振り返る 等

特質を踏まえて指導方法を工夫する

対話的な学びの視点

協働、対話

多面的・多角的に考える

よりよい選択や判断 等

特質を踏まえて指導方法を工夫する

深い学びの視点

様々な場面、状況において、道徳的価値を実現するための問題状況を把握し、適切な行為を主体的に選択し、実践できるような資質・能力を育てるための学習

読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

問題解決的な学習

道徳的行為に関する体験的な学習

特質を踏まえて指導方法を工夫する

質の高い多様な指導方法

- 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習
- 問題解決的な学習
- 道徳的行為に関する体験的な学習

特質を踏まえて指導方法を工夫する

読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

- 教材の登場人物の判断や心情を自分との関わりにおいて多面的・多角的に考える。
- 登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考える。

道徳的価値
の理解を深
める

特質を踏まえて指導方法を工夫する

読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

どうして主人公は、
〇〇という行動を
とることができた
のだろう。

主人公はどういう
思いをもって△△
という判断をした
のだろう

特質を踏まえて指導方法を工夫する

問題解決的な学習

- 問題場面について児童生徒自身の考えの根拠を問う
- 問題場面を実際の自分に当てはめて考えてみることを促す。
- 問題場面における道徳的価値の意味を考えさせる。

道徳的諸価値に関わる問題
や課題を主体的に解決するた
めに必要な資質・能力を養う

特質を踏まえて指導方法を工夫する

問題解決的な学習

なぜ、〇〇は大切なのでしょうか。

どうすれば〇〇が実現できるのでしょうか。

同じ場面に出会ったら自分ならどう行動するのでしょうか。

特質を踏まえて指導方法を工夫する

問題解決的な学習における道徳的な問題

- 道徳的諸価値が実現されていないことに起因する問題
- 道徳的諸価値について理解が不十分又は誤解していることが生じる問題
- 道徳的価値のことは理解しているが、それを実現しようとする自分とそうでない自分との葛藤から生じる問題
- 複数の道徳的価値の間の対立から生じる問題

これらの問題構造を踏まえた場面設定

特質を踏まえて指導方法を工夫する

道徳的行為に関する体験的な学習

- 問題場面を実際に体験してみる。
- 自分ならどういう行動をとるかという問題解決のための役割演技を行う。

葛藤の理解

問題解決の見通し

様々な問題を主体的に解決し、
道徳的価値を実現するため
の資質能力の育成

特質を踏まえて指導方法を工夫する

- それぞれが独立した指導の型を示しているわけではない。
- 要素を組み合わせた指導を行うことも可能

自我関与

+

問題解決

学校の実態や児童生徒の実態を踏まえて、授業の主題やねらいに応じた適切な工夫改良を加えながら、適切な指導方法を選択することが求められる。

指導観を明確にした授業構想

道徳科の授業構想

- 1 ねらいとする道徳的価値(道徳の内容)について、学習指導要領に基づき、明確な考えをもつ。

価値観

道徳の内容項目

+

道徳性の様相

これまでのねらい

指導観を明確にした授業構想

ねらいについて

この時間にどういった学習活動をとおして、いったい何をねらっているのかを明確化・具体化する。

<A>を通して

しようとする

<C>を育てる

これからのねらい

指導観を明確にした授業構想

ねらいについて

<A>

教材のどこをどう活用し、何を中心に学習させるのか。

内容項目から具体的にどのような道徳的価値を取り上げるのか。

<C>

道徳性の諸様相からどのような資質、能力をはぐくむのか

これからのねらい

指導観を明確にした授業構想

ねらいについて

それぞれの立場を考え、自分ができるところを実行しようとする思いを考える学習を通して、相手の立場に立つ難しさを理解した上で、進んで親切にしようとする心情を育てる。

<A>を通して

しようとする

<C>を育てる

指導観を明確にした授業構想

道徳科の授業構想

2 明確な価値観を基に子供たちにどのように指導し、子供たちが何を学び、その結果としてのよさや課題を確認し、本時で学ばせたいことを明らかにする。

児童
生徒観

学習状況

指導観を明確にした授業構想

道徳科の授業構想

- 3 授業者の明確な価値観、児童生徒観をもとに、教材の活用の仕方を明らかにする。

教材観

自己を
見つめる

物事を多面的・多角的
に考える

自己の生き方について
の考えを
深める

道徳的諸価値についての理解

指導方法

指導観を明確にした授業構想

- 1 ねらいとする道徳的価値(道徳の内容)について、学習指導要領に基づき、明確な考えをもつ。
- 2 明確な価値観を基に子供たちにどのように指導し、子供たちが何を学び、その結果としてのよさや課題を確認し、本時で学ばせたいことを明らかにする。
- 3 授業者の明確な価値観、児童生徒観をもとに、教材の活用の仕方を明らかにする。

価値観

児童
生徒観

教材観

指導観

道徳科の評価について

道徳科の評価について

道徳教育

教育活動全体で見られた
児童生徒の道徳的な行為等

行動の記録

総合所見及び指導上参考となる諸事項

道徳科

児童生徒の学習状況及び
道徳性に係る成長の様子

道徳科の評価について

道徳科の評価でしないこと

数値による評価は行わない。

道徳的判断力、心情、実践意欲と態度のそれぞれに分節しての観点別評価は行わない。

内容項目ごとの評価は行わない。

他の児童生徒との比較による評価は行わない。

道徳科の評価について

道徳科の評価ですること

記述式の評価を行う。

大きくりなまとまりを踏まえた評価を行う。

成長を積極的に受け止めた個人内評価を行う。

道徳科の評価について

「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の4
児童の**学習状況**や**道徳性に係る成長の様子**を継続的に把握し、指導に生かすように努める必要がある。ただし、数値による評価は行わないものとする

第1 **学習状況** 示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値**についての理解を基に、**自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習**を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる**

道徳性に係る成長

道徳科の評価について

学習状況：目標に示された学習活動に着目

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか。

物事を多面的・多角的に考え

自己を見つめ

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

自己の生き方についての考えを深める

道徳的諸価値についての理解を基に

道徳科の評価について

児童が一面的な見方から、多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか

- 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やその時の心情を様々な視点から捉え考えようとしている。
- 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。
- 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。

道徳科の評価について

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか

- 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。
- 現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している。
- 道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めている。
- 道徳的価値を実現することの難しさを自分事として捉え考えようとしている。

道徳科の評価について

道徳性に係る成長の様子

道徳性の諸様相育成を目指す学習活動における児童生徒の様子。

道徳的価値との関わりにおいて、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考えたり、自分とのかかわりで考えたりする学習活動における児童生徒の様子。

道徳科の評価について

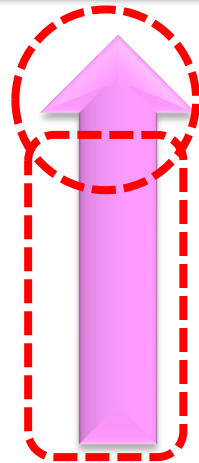
学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握

道徳科の授業のねらい

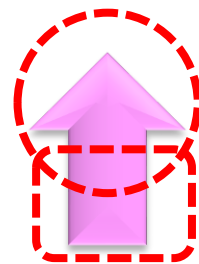
到達点ではない

伸びをみる

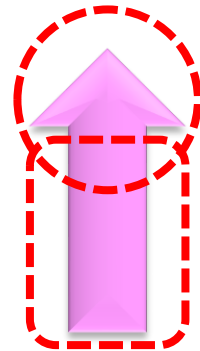
伸びの長さは
みない



Aさん



Bさん



Cさん

道徳科の評価について

学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握

個人の目標に向けた学習状況ごとに横並びにして、**突出したところをよさと認める。**

学習状況を時間的に縦に並べて、**進歩の状況を認める。**

道徳科の評価について

通知表、指導要録における評価

- 道徳科の評価欄であるため、道徳科の授業中のことについてのみ記述する。
- 記述する内容は道徳科の授業中における学習活動に着目する。
- 大くくりなまとまりを踏まえる。
- 道徳性は評価しない

教師はねらいを設定して授業に臨むが、そのねらいをゴールとして児童生徒の評価は行わない。

道徳科の評価について

通知表、指導要録における評価

- 教材に出てくる主人公に生じた道徳的な問題と自分の体験を重ね合わせてどうすればよいか考えていました。
- 例えば、「親切、思いやり」の学習では、目の不自由な人に声をかけることができなかった自分の体験と主人公の心の揺れを重ねて考えている記述が見られました。

成長の様子が
見られるが特
徴が見えにくい

学習状況がイ
メージしやすい
が大きくりの評
価ではない

大きくりなまとめ

+

具体

道徳科の評価について

これから特に配慮すべきこと

授業中の発言がほとんどない。

文章表現が得意ではない。

表情にも表れにくい。

・授業でどのように見取っていくのかを校内で検討しておくことが必要

・授業者は、意図的に観察したり、指名したりして、評価できる根拠を集めることが必要

道徳科の評価について

組織的、計画的な評価の推進例

学年ごとに評価のために集める資料や評価方法等を明確にしておく。

評価結果について教師間で検討し評価の視点などについて共通理解を図ること。

評価に関する実践事例を蓄積し共有すること。

妥当性

信頼性

自信

負担感軽減

道徳教育推進教師を 中心とした指導体制

道徳教育推進教師を中心とした指導体制

道徳教育推進教師の役割

- 道徳教育の指導計画の作成に関すること
- 全教育活動における道徳教育の推進充実に関すること
- 道徳の時間の充実と指導体制に関すること
- 道徳用教材の整備・充実・活用に関すること
- 授業の公開など家庭や地域社会との連携に関すること
- 道徳教育の研修の充実に関すること
- 道徳教育における評価に関すること など

リーダーシップとマネジメント

道徳教育推進教師を中心とした指導体制

道徳教育推進教師の専門性

コーディネーター

デザイナー

プランナー

ナビゲーター

コレクター

スポークスマン

ムードメーカー

アドバイザー

スペシャリストとしての専門性

道徳教育推進教師を中心とした指導体制

道徳教育推進教師の専門性

コーディネーター

学校における道徳教育の全体像を描き、統合したり、調整したりしながら、推進体制を確立し、1つにまとめあげる。

デザイナー

校長の方針を受け、重点目標の設定や特色ある道徳教育の推進を構造的に描いていく。

プランナー

トータルデザインに基づき、道徳教育の全体計画、道徳科の年間指導計画や授業研究会の企画等のビジョンを示す。

道徳教育推進教師を中心とした指導体制

道徳教育推進教師の専門性

ナビゲーター

計画が機能し、活用されているか、目標に向かっているか、教職員に道筋を示し、見届け、導き、評価し、改善していく。

コレクター

道徳教育充実のために必要な教材・教具・場面絵、ワークシート等の授業セット、教育機器などの確保と収集を図る。

スポークスマン

学校の道徳教育について保護者、地域や他行への理解と協力を得るための資料や広報誌の発行、説明の中心となる。

道徳教育推進教師を中心とした指導体制

道徳教育推進教師の専門性

ムード
メーカー

有効な情報を発信し、学校を上げて道徳教育の推進に力を入れようという意気込みや研究授業に意欲的に取り組もうという体制となるような雰囲気醸成していく。

アドバイザー

道徳科の効果的な指導法や学習指導案の検討、評価の方法などについて助言にあたる。

終わりに

「特別の教科 道徳」の目標を理解する

特質を踏まえて指導方法を工夫する

できる評価方法から実践する

リーダーシップとマネジメント

『「特別の教科 道徳」実施に向けた 小・中学校における道徳教育推進教師の 役割と道徳教育経営上の課題』

**H30. 11. 29 瑞沼市民センター
越谷市立鷺後小学校 磯山貴則**